

第 53 回 グループホームふるさと桜 運営推進会議 会議録

開催日時	令和 5 年 8 月 25 日(金)	
開催場所	グループホームふるさと桜 1階多目的室	
出席者	中西様、友野様(家族代表) 石坂様(知見を有する者) 吹田様(地域代表) 関本様、片桐様(地域包括支援センター) 大貫(施設長)、大田(管理者)、藤田	
議題	1	家族会 会長・副会長選出について
	2	運営状況
	3	入居者様の日頃の生活状況
	4	その他
議事	<p>1.家族会 会長・副会長選出について          昨年度まで三浦様に会長をして頂いておりましたが、お母様のご退居に伴い、会長を退任となりました。この度、副会長をして頂いておりました中西様に会長を、友野様に副会長をお願いさせていただき了解を得ましたので、下記の通りご報告させていただきます。</p> <p>家族会会長、副会長は次の通りとなります。          会長:中西様(2階中西様の息子様)          副会長:友野様(2階友野様の義弟様)          ※友野様は1年の任期となります。</p> <p>2.運営状況について(別紙資料参照)          ・現在 18 名の在籍となっております。平均年齢は 87.7 歳です。平均介護度は 2.44 です。入居期間は 1～3 年の方が一番多く在籍されています。入居期間が 1～3 年の方が一番多い理由として、グループホームで医療的ケアが必要になった場合や、日常生活動作が困難になり車イスが必要になった場合などのほか、設備的に車イスの方でも肩まで浸かれるお風呂が良い場合は 3～5 年のうちに特養に移られるから、という理由が考えられます。          8/24 の時点で、年間入院日数は、55 日間となっています。現在はおひとりの方が胆のう炎で神戸徳洲会病院に入院されています。年間の空床日数は 1 日で、4 月に 2 人が特養に転居され、その際、次の入居者様の入居希望日に合わせた結果 1 日空床となりました。          関本様より:入院している間のベッドはどれくらいの期間確保されるのでしょうか。          管理者より:契約上基本 2 か月間は居室をそのままの状態にしています。          大貫園長より:1 週間で契約を解除するというのも決して違法ではなく、どこの施設でも 1-2 か月待っているわけではありません。その場合は、その施設に戻って来られるお手伝いをさせていただくという対応をとっています。</p> <p>事故・ヒヤリの報告          薬の事故が増えています。その人の物ではない薬を違う人に服用させてしまった事故が 1 件ありました。同じ職員が、ヒヤリハットや事故を繰り返していることがありますので、同じことが繰り返されるときは、面談など行い注意喚起するようにいたします。          中西様より:ヒヤリハットは、その対策をしっかりすることが大切です。事故を起こさないためにどういう対策を立てるのかということが重要です。          友野様より:人間だからミスはあります。それをカバーする対策を立てる必要があります。改善策がシンプルでないとミスする要因が増えます。薬の誤薬は大きい問題です。          吹田様より:「薬は怖い」と思い薬介助に入ることが大切です。          友野様より:確実に行うための手順が、かえって作業を複雑にし、ミスを誘発する原因になり得ます。それを解決するための方法として、名前を書いた容器を、その名前の方の前に持って行く方法を提案します。私が提案したやり方を試してもらおうのもひとつの手だと思います。</p>	

石坂様より:薬の件はどこ施設でも課題になっています。事故が起こると当分は職員も、管理者も、リーダーも気を付けますが、しばらくすると気持ちが慣れてくるし、気が抜けてしまいます。なかなか薬の事故をゼロにするのは難しいですね。  
⇒管理者より:次回9/20のスタッフ会議までに職員一人一人と面談し、スタッフ会議で薬の事故対策について職員間で話し合います。

### 3. 入居者様の日頃の生活状況

少しずつ地域に出かける機会を増やしています。8月は「東垂水ふれあいまちづくり協議会夏祭り」に参加しました。また利用者様と一緒におやつ時間に食べるお菓子を一緒に買いに出掛けました。日曜日には利用者様の希望を反映させた昼食を利用者様と一緒に作っています。8月は天ぷらや、焼肉などを調理し喜んでいただきました。

### 4. その他

#### 新型コロナウイルス感染症について

7月8月ともに、グループホームでの感染者はなく過ごしていただきました。他施設ではコロナ感染の情報も出ていますので今後も気を引き締めて感染予防に努めて参ります。

#### ・災害対策訓練

7/18にグループホームから出火したと想定して火災避難訓練を行いました。9月にも防災訓練を実施し、安否確認の報告の訓練を行います。災害の時には、グループホームの場合はどういう風に避難し、どこで待機するかが重要になります。2Fはベランダに逃げて、1Fは火元から遠いところに逃げるようにします。

次回開催予定:令和5年10月27日(金)14:00~15:00

# グループホームふるさと桜 入居者様状況

令和5年8月24日現在

入居者様  
在籍人数

ユニット	在籍人数
八重	9名
枝垂	9名
全体	18名

性別

ユニット	男性	女性
八重	1名	8名
枝垂	0名	9名
全体	1名	17名

平均年齢

ユニット	男性	女性	合計
八重	79.0	89.4	89.3
枝垂		86.1	86.1
全体	79.0	87.7	87.7

介護度別  
人数

ユニット	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
八重	0	4	1	2	2	0
枝垂	0	3	1	3	2	0
全体	0	7	2	5	4	0
平均	2.33					

入居期間  
別人数

	1年未満	1~3年	3~5年	5年以上
八重	1	5	2	1
枝垂	2	4	3	0
全体	3	9	5	1

障害高齢者日常生活自立度別人数

	J	A1	A2	B1	B2	C1	C2
八重	0	0	9	0	0	0	0
枝垂	0	0	4	5	0	0	0
全体	0	0	13	5	0	0	0

認知症高齢者日常生活自立度別人数

	I	II a	II b	III a	III b	IV	V
八重	0	0	3	1	3	2	0
枝垂	0	1	1	3	2	2	0
全体	0	1	4	4	5	4	0

空床延べ  
日数

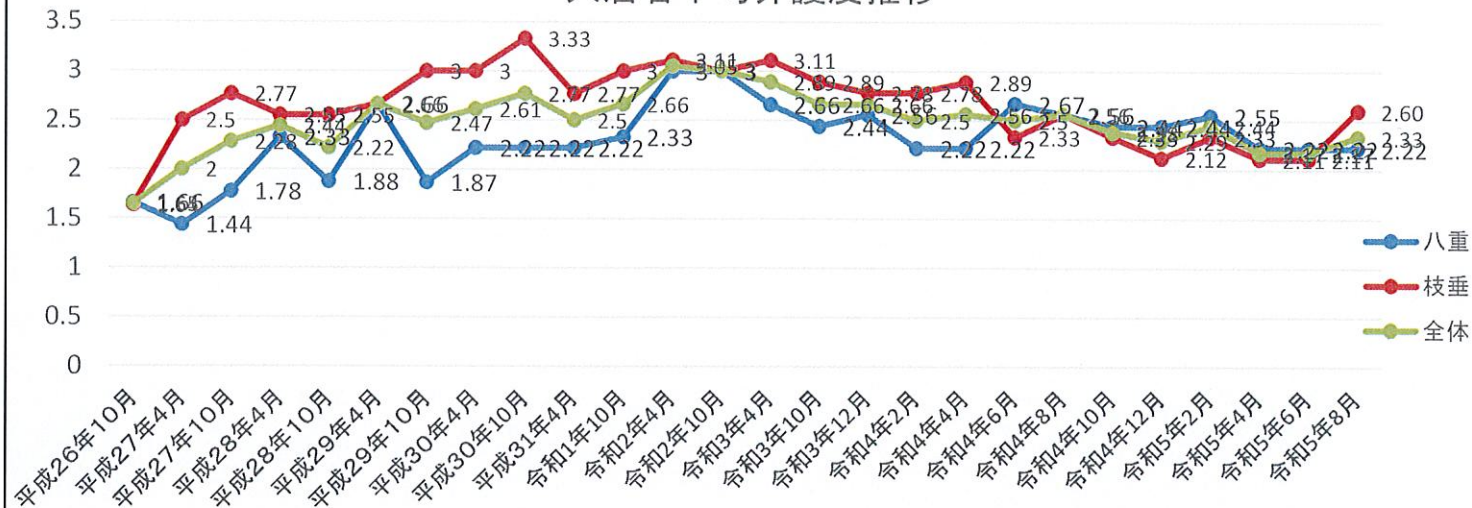
	八重	枝垂	合計
入院	10	45	55
完全空床	1	0	1

	在籍月	12月	令和4年 2月	4月	6月	8月	10月	12月	令和5年 2月	4月	6月	8月
平均年齢	八重	87.4	86.8	86.2	88.1	88.1	87.5	88	89.3	88.1	88.1	89.3
	枝垂	86.2	86.2	85.4	85.9	86.1	86.7	86.8	87	86	85	86.1
	全体	86.8	86.5	85.8	87.0	87.1	87.1	87.4	87.6	87.1	86.6	87.7
平均介護度	八重	2.56	2.22	2.22	2.67	2.56	2.44	2.44	2.55	2.22	2.22	2.22
	枝垂	2.78	2.78	2.89	2.33	2.56	2.12	2.33	2.33	2.11	2.11	2.60
	全体	2.66	2.50	2.56	2.50	2.56	2.29	2.38	2.44	2.17	2.17	2.41

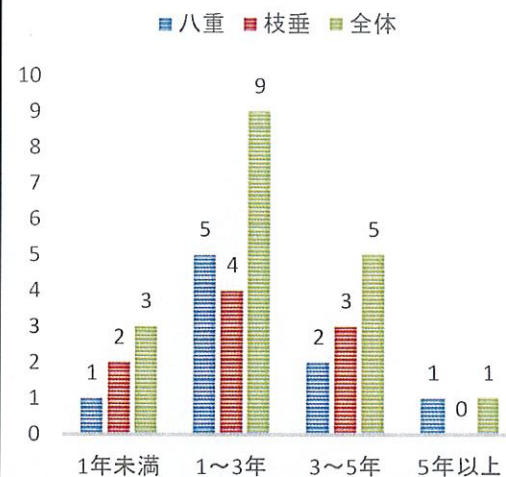
入居・退居の状況

	令和5年度
入居	2
退居	2

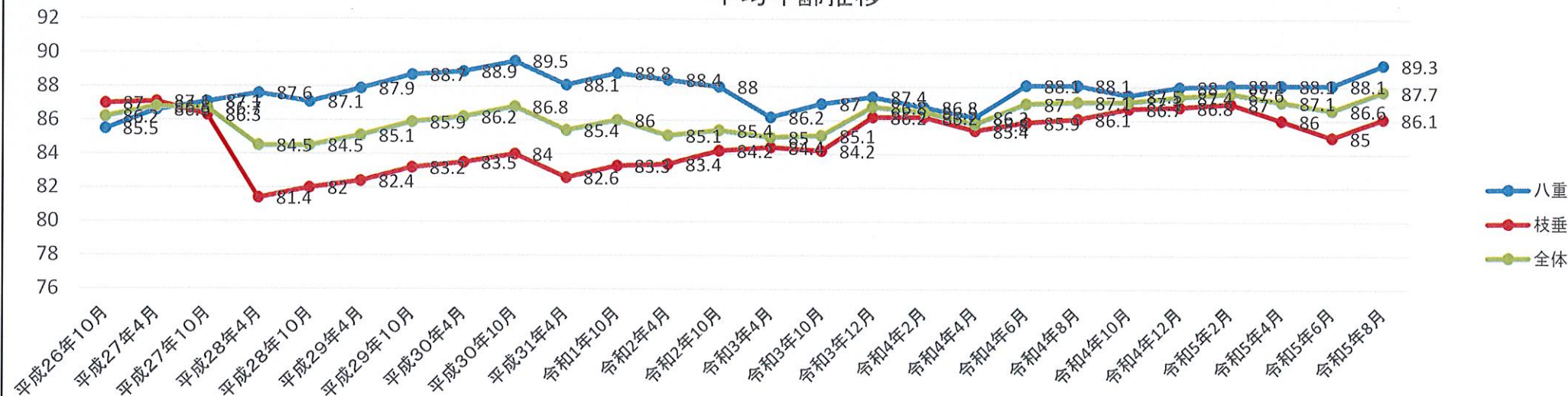
### 入居者平均介護度推移



### 入居期間別人数



### 平均年齢推移



# 令和5年度 事故報告・ヒヤリハット報告状況

(令和5年7月～令和5年8月)

		事故報告					ヒヤリハット						
		転倒	転落	受傷	薬関連	その他	転倒	転落	受傷	薬関連	ベッドブレイキ	ベッド柵	その他
7月	八重	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	5
	枝垂	1	0	0	1	2	1	0	0	2	0	0	0
	合計	1	0	1	2	2	1	1	0	2	0	0	5

		事故報告					ヒヤリハット						
		転倒	転落	受傷	薬関連	その他	転倒	転落	受傷	薬関連	ベッドブレイキ	ベッド柵	その他
8月	八重	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	枝垂	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	合計	2	0	3	1	0	1	0	0	1	0	0	2

7月8月ともに転倒・内出血・服薬、利用者様への弁償の事故が発生しています。転倒の事故に関しては、普段の利用者様の状態を分かっているならば、そばを離れても大丈夫な方、そばを離れると危ない方という判断は出来るので、その方の状態に合わせた介助が必要です。内出血に関しては手のひら全体で支えるなど広い面を使って触り方に気をつける必要があります。服薬関連の事故は薬が口に入るまでに、何重にも確認のタイミングがあるのでその段階で気付いて間違いを食い止めることが大切です。また、弁償に関しては、利用者様の持ち物を慎重に扱うように話し合いました。

8月に服薬に関する事故が発生しております。本人に他利用者様の薬を服用いただいてしまったという事故がありました。量的には、少量でしたが、間違えて服薬した方の身体に異常が生じる薬もあるので、薬を利用者様のところに持って行く前に名前・何月何日 どの薬か錠数はいくつかを二人以上で確認を行い、さらに服薬していただく前に薬袋の内容を利用者様の前で読み上げ、利用者様が薬を確実に飲み込むまで服薬介助に意識を集中することを職員間で徹底致します。

